

2020年3月期 第1四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

■国際線について

Q1：第2四半期の旅客需要の見通しは？

A1：2018年度第4四半期からインバウンド需要の伸びの鈍化が顕著であった中国線などにおいて、第1四半期では回復してきております。東南アジア線も同様です。これら傾向は第2四半期以降も更に継続すると見ております。また、第1四半期で好調であった米大陸線において、米中貿易摩擦による業務需要動向を今後も注視していきます。

■国内線について

Q2：第1四半期の好調な業績についての要因は？

A2：第1四半期の有償旅客数は前年同期比+4.3%となり、そのうち個人を中心とした需要動向が強かったと分析しております。

Q3：第2四半期の旅客需要の見通しは？

第2四半期以降も8月、9月は非常に強い需要動向にあり、引き続き堅調な傾向が継続すると見ております。また新型機のエアバス A350 が羽田－福岡線にて9月より運航開始されるため、競争力をさらに高め、商品サービスの向上に努めてまいります。

以上